

2025年10月11日 土

松村茜 ピアノ

辻佑季 ヴァイオリン

ラヴェル / フォーレ

佐藤好昭 藍師

阿波藍プレゼンテーション

MUSIQUE ET AI

音楽と藍

2026年4月11日 土

松村茜 ピアノ

シューマン / ブ람ス / シューベルト

佐藤好昭 藍師

阿波藍プレゼンテーション

板東美千代

オートクチュールBANDO

服飾デザイナー (ゲスト)

開場 18:00 開演 18:30

会場: フリューゲル・ホール 徳島

エントリー

大人: 4500円, 25歳以下: 3000円



詳細・お問い合わせ

akanematsumura.com



辻佑季 ヴァイオリン

東京芸術大学附属音楽高等学校、東京芸術大学卒業。
フランス留学中に、パリ高等音楽院を首席で卒業。
これまでに鷺見四郎、澤和樹、ゲルハルト・ボッセ、
松原勝也、ルイス・カプラン、ジャン＝ピエール・ヴァレーズの各氏に師事。



ヨーロッパを主たる演奏活動拠点として、ボルドー、ノルマンディー、ニース、ローマ、サン・セバスチャン、デュッセルドルフ等数々の音楽祭に参加。ソリストとして、尾高忠明、チュガン・ソキエフ、ジョルジュ・プレートル、ユーリ・バシュメットら指揮の元、多数のコンチェルトを演奏した。室内楽ではこれまでに、ユーリ・バシュメット、フィリップ・ミュラー、ドン・スーク・カン、ロラン・ピドゥー、エレヌ・ドゥヴィルヌーヴらと共演。トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団、コンセール・コロヌ、パリ国立歌劇場管弦楽団に所属した後、パリ国立高等音楽院アシスタント教授を経て、現在はローザンヌ音楽院、チーニュ国際アカデミーミュージックアルプで教鞭をとっている。

松村茜 ピアニスト

1981年、徳島県徳島市生まれ。4歳より、小佐井淑子教授のもとピアノを始める。その後、米谷治郎教授のもとで研鑽を積み、1999年、東京芸術大学附属音楽高等学校を卒業。

2001年に渡米し、ハーバート・ステッソン教授に師事。2006年、ジュリアード音楽院学士課程ピアノ科を卒業。さらに2006年秋より渡欧し、スイスのバーゼル州立音楽院にてアドリアン・エティカー教授に師事。2009年、修士課程・コンサートディプロマを、2年後の2011年に修士課程・ソリストディプロマを修了した。

2011年から2019年までバーゼル州立音楽院にてチェリストのイヴァン・モニゲッティ教授、ソル・ガベッタ教授クラスの伴奏をつとめ、学内の招聘アーティストのマスタークラス、また、メニューイン音楽祭、リヒテンシュタイン国際音楽アカデミー、ソルスベルグ音楽祭を始め、数々の国際コンクールやオーディションのピアニストを務めた。

現在、国際的にソリストとして活動し、ホットピンク・カルテットを始め、室内楽奏者としても積極的に活動している。またジャズドラマーのピエール・ファールブルのもとで、ジェンベの即興演奏にも取り組んでいる。



akanematsumura.com



佐藤好昭 藍師

1963年、佐藤家の長男に生まれる。

1988年、徳川家康公着用の小袖の復元に参加し「花重ね模様小袖」の染色を藍の生葉で行い復元を成功させる、江戸時代の藍染めの名品に直に触れる機会を得て家業の価値を再発見する。

2015年、城西高等学校創立110周年記念式典において「ジャパンプルー」をテーマに基調講演を行う。同年、徳島県卓越技能者「阿波の名工」として表彰される。

2019年、5月7日下鴨神社、6月10日清水寺に令和天皇即位を祝い几帳の奉賛に参加する。同年、厚生労働大臣より卓越した技能者「現代の名工」として表彰される。

2020年、黄綬褒章を受章する

板東美千代 オートクチュールBANDO H 服飾デザイナー(ゲスト)

徳島の川や水辺を舞台に数多くファッションショーを開催。
母の洋装店を引き継ぎ一人ひとりのお客様に似合うオーダーの洋服を作り続け40年。
エレガントで女性らしい上品な作品作りをモットーとしている。

- 1981年 東京杉野学園ドレスメーカー女学院デザイナー科卒業
- 1996年 パリユーロセンターフランス語留学
- 2000年 パリオートクチュールサンディカル校スタージュテック参加2003年
NDC上海ファッションショー参加(日本デザイナークラブ)
- 2007年 徳島デザイナーズコレクション参加
- 2008年 マレーシア「環境に優しい繊維と織物フォーラム」ファッションショー(藍染作品)
- 2015年 ミラノ万博にて藍染ファッションショー
- 2016年 台北にて藍染ファッションショー

- ※ NPO法人 新町川を守る会 副理事長
- ※ NPO法人 アリانسフランセーズ徳島 理事
- ※ 吉野川交流推進会議 理事

